

コミュニティファーマシー

Community Pharmacy

薬：F1-03412MY

医療科目 4年／前期 1.5単位 必修科目

科目責任者 小清水 治太(薬学教育研究センター／地域医療学)

■教育目的

コミュニティファーマシー(地域薬局)のあるべき姿を考えていく上で、薬局の役割や業務内容、患者の安全確保とQOLの貢献、服薬指導、かかりつけ薬剤師、セルフメディケーションなどの基本的知識も修得する。それらを活用するための基本的態度も修得する。また、地域包括ケアの理念、薬局と薬剤師の役割を理解する。(知識、技能、態度)【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～⑤】

■学習到達目標

1. 地域包括ケアの理念、薬局と薬剤師の役割を討議する。(知識・態度)
2. 薬局の業務運営を概説する。(知識)
3. セルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を討議する。(知識・技能・態度)
4. OTC医薬品を利用したセルフメディケーションを修得する。(知識・技能)
5. かかりつけ薬剤師、健康相談、健康サポート薬局の意義を理解する。(知識)
6. 服薬指導上の注意点を調べ列挙できる。(知識、技能)

■準備学習(予習・復習)

予習：薬局薬剤師の業務について調べておく。(30分以上)

復習：学んだ知識をもって薬剤師の仕事を確認する。(30分以上)

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1～3	地域薬局の役割(1)	地域貢献、学校薬剤師、地域連携、災害医療、医療費の適正化、健康サポート薬局、健康相談、医薬分業のしくみと意義、かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師	B(4)-①-1～3,5,6、②-2,3 F(1)-③-1、(5)-②-1、④-1
4～5	疑義照会 服薬指導の基本	不適切な処方箋と疑義照会 守秘義務、服薬指導上の注意点、生活指導、薬歴管理、薬剤交付後の介入・支援	F(1)-②-1、(2)-②-1,4 ～6,11、④-7
6～7	地域薬局の役割(2)	在宅医療、居宅介護、包括医療	B(4)-②-1,2,4,5 F(4)-②-1,2、(5)-①-1 ～3、③-1
8～9	セルフメディケーション	(1)セルフメディケーションの概念、OTC医薬品の基礎、サプリメント、保健機能食品等 (2)セルフメディケーションにおけるOTC医薬品の選択	B(4)-①-4
10～11	OTC医薬品推奨の留意点	(1)OTC医薬品の服薬指導の実際(医療用医薬品との対比) (2)OTC医薬品の服薬指導の実際	F(1)-②-2、(2)-④-2,3、 (3)-③-3、(5)-③-2～4
12～14	薬局の業務運営	(1)薬局の業務運営、流通のしくみ (2)医療保険制度、調剤報酬、保険薬剤師療養担当規則、保険医療療養担当規則	B(3)-①-5～7、②-3、 (4)-①-1,3 F(1)-②-1、③-2,5
15	総合演習	まとめ	

■授業分担者

小清水 治太(No.1～5、15)、宮沢 伸介(No.6～9)、尾上 洋(No.10～14)

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

質問を個別に受け付け、解説・説明をする。定期試験の成績100%で評価する。

■教科書

講義プリント

■参考書

『調剤学総論 改定14版』堀岡正義著(南山堂)、『薬事法規・制度及び倫理解説(2024-25年版)』薬事衛生研究会編集(薬事日報社)、『OTC薬ガイドブック第3版 選ぶポイントすすめるヒント』堀美智子監修(じほう)